

## 東京大学建築学専攻等との「都市空間生態学」に関する共同研究展示会のお知らせ

～小淵祐介代表研究者・隈研吾連携研究者との共同研究～

NTT都市開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：牧 貞夫）は、国立大学法人東京大学（以下 東京大学）並びに株式会社新建築社（以下 新建築社）との共同研究を2015年4月より行っております。

本研究は「都市空間生態学」をテーマとし、都市の歴史、都市及び人口動態に関する指標やビッグデータを活用した調査・分析を行うことにより、将来あるべき今後の都市の姿を模索するものです。

下記の通り、当社が所有する北青山の敷地において、本研究に関する展示を行いますので、お気軽にご来場ください。

### 記

#### (1) 展示タイトル

“Internet of Behavior” ～個が共鳴し合う都市生態へ～

主催：東京大学建築学専攻 Advanced Design Studies

共催：NTT都市開発株式会社 株式会社新建築社

#### (2) 展示概要

いま、都市においては著しく Internet of Things（＝もの同士が直接情報をやり取りして作用すること）が普及しており、その概念について注目いたしました。本展示では、都市における多様なコト・モノの空間及び時間的な「移ろい」が相互に関連し合う様を Internet of Behavior と捉え、都市生態の把握と、関与のきっかけを探ります。

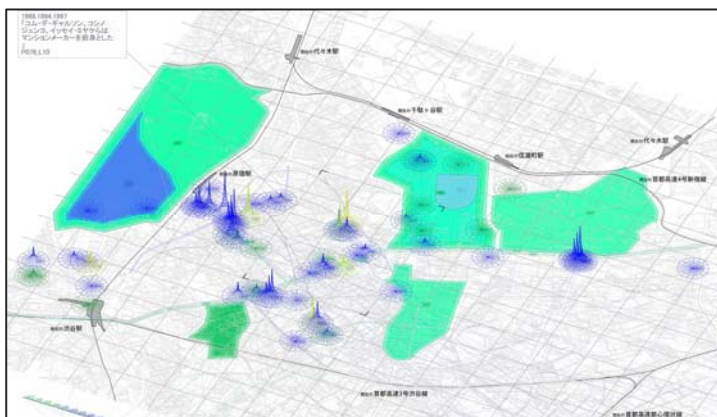
#### (3) 展示日程

日 時：2016年3月5日（土）～3月13日（日） 10時～17時

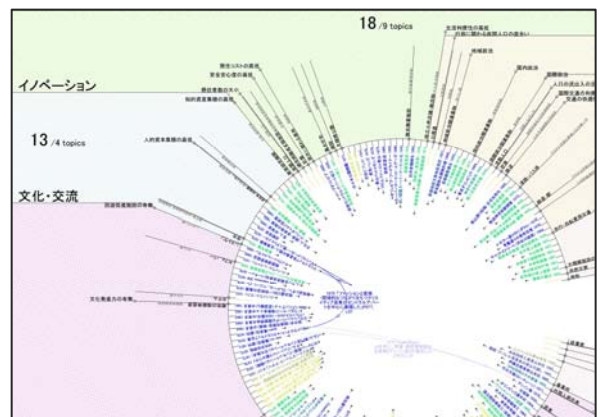
場 所：東京都港区北青山2丁目12-2 参青山ビル

- ・入場無料
- ・駐車場はございませんので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

以上



展示イメージ1（提供：東京大学）



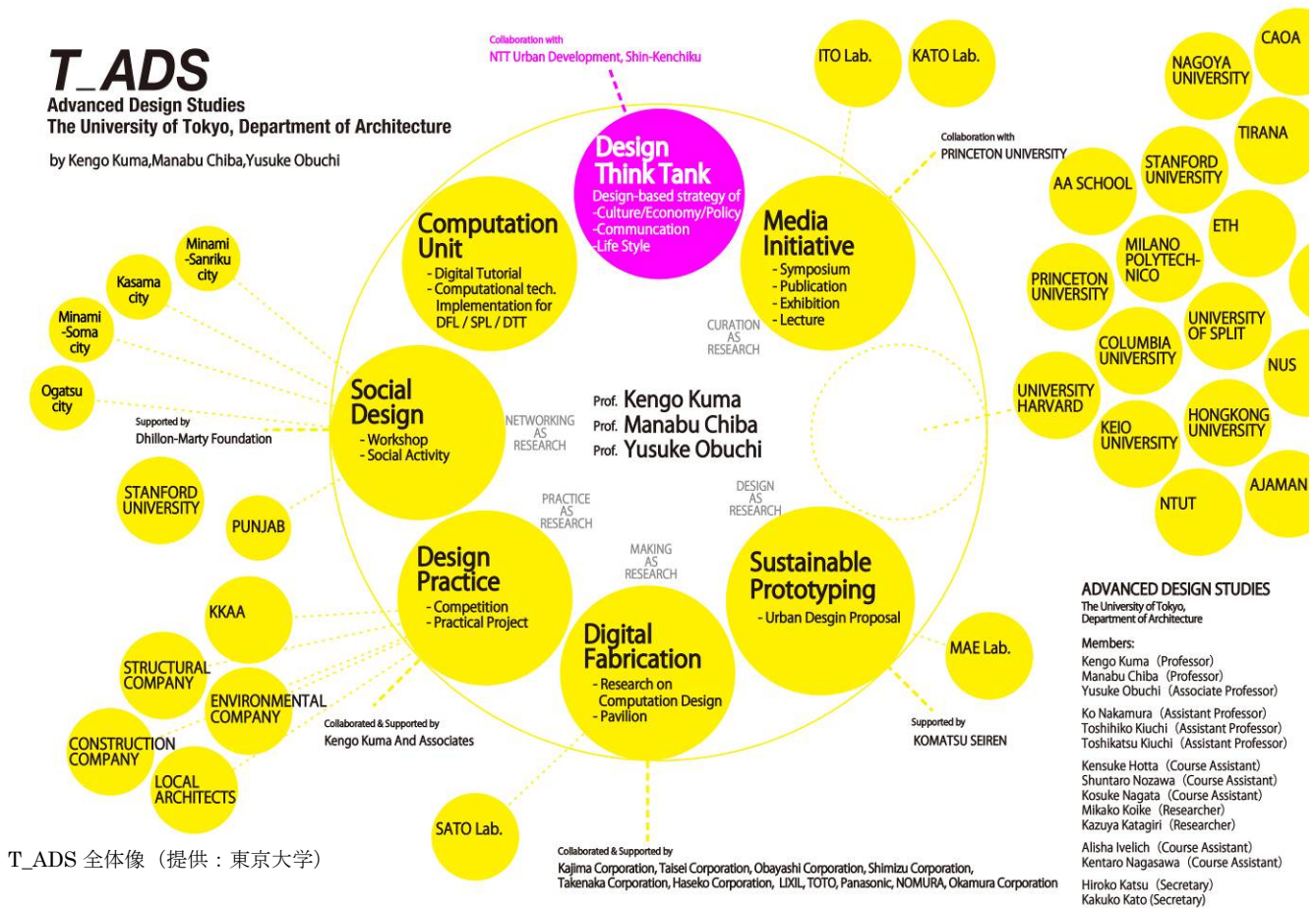
展示イメージ2（提供：東京大学）

<お問い合わせ先>

広報・マーケティング室 石坂・久保田 Tel: 03-6811-6241

◆研究開始の経緯

2015年4月にNTT都市開発、東京大学、新建築社の三者は共同で、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 Advanced Design Studies (以下、TADS) 内に、文化・経済活動が多様に相互作用する都市生態の把握と都市デザインへの応用に、多分野の専門家の協働及び領域横断的な視点から取り組む「Design Think Tank」(以下、DTT) を設置いたしました。



T\_ADS 全体像 (提供：東京大学)

◆当社が共同研究を行う意義

グローバルを舞台とした激化する都市間競争、日本の人口動態の変動、ICTの進歩によって顕在化するワークスタイル/ライフスタイルの多様性等、不動産マーケットは刻々と変化し続けております。当社はこのような状況下において、企業単独では得られない多面的かつ横断的な視点を持つために、「都市空間生態学」に関する共同研究を開始いたしました。本共同研究に参画することにより、当社はより一層柔軟な発想を持ち、魅力的な街づくりの実現を目指します。

◆「都市空間生態学」とは

都市のあらゆる構成要素が相互の関係性によって成り立ち、その都市固有の魅力を創出していることを、都市の歴史や空間的要素だけでなく、今後様々に拡張していくことが期待されるリアルタイム都市データ使用など、最新の情報通信技術を応用して明らかにする学問です。今年度はその初期的な試みとして、ビックデータ(流動人口データ)を活用し、幅広い視野からの都市分析を試みています。

#### ◆参加メンバー

##### 《東京大学大学院工学系研究科建築学専攻》

###### ・T\_ADS 及び DTT 研究者について

隈研吾教授・千葉学教授・小渕祐介准教授により、最先端の建築デザイン教育と建築文化の向上に寄与することを目的として創設された組織です。従来のように個々の研究室が独自の研究をおこなうだけでなく、グローバルとローカルが共存する社会で求められるテーマを分担した複数の「ラボ」(Digital Fabrication Lab、Sustainable Prototyping Lab、Media Initiative Lab、Design Think Tank) が横断的に活動を行っています。

###### ・DTT 代表研究者 小渕 祐介

専門は建築設計・コンピューテーショナルデザイン。南カリフォルニア大学卒業、プリンストン大学修了後、ケンタッキー州立大学建築学部助教、ニュージャージー州立工科大学建築学部客員講師、AA スクール(ロンドン)DRL 共同ディレクターを経て2010年より東京大学准教授。プリンストン大学客員准教授、ハーバード大学客員講師を歴任。

###### ・DTT 連携研究者 隈研吾

専門は建築設計・デザイン。1979年東京大学建築学科大学院修了。コロンビア大学客員研究員を経て、2001年より慶應義塾大学教授。2009年より東京大学教授。1997年「森舞台/登米町伝統芸能伝承館」で日本建築学会賞受賞、同年「水/ガラス」でアメリカ建築家協会ベネディクタス賞受賞。2002年「那珂川町馬頭広重美術館」をはじめとする木の建築でフィンランドよりスピリット・オブ・ネイチャー 国際木の建築賞受賞。2010年「根津美術館」で毎日芸術賞受賞。

##### 《株式会社新建築社》

###### ・会社概要

本社：東京都千代田区霞が関三丁目2番5号

代表取締役社長：吉田信之

創業：1925（大正14）年 7月

###### ・新建築社の参画にあたり

建築雑誌『新建築』を1925（大正14）年に創刊。建物にかかわるあらゆるデータベースをアーカイブしている。従来の様々な取材の中で、建築界のこれからを担う若い層の課題意識が、「建築」のあり方においてテクノロジーやデータ解析の活用必要性、「建築単体」から「都市の開発」に拡張しつつあることを感じていた。今回、NTT都市開発と東京大学による共同研究がその最適な実践と考え、両社を繋ぎ、新建築社のアーカイブを活用した共同研究とし、建築メディアの新たな形として幅広い層への発信構築を狙う。

<本件に関するお問い合わせ先>

広報・マーケティング室

TEL:03-6811-6241